

三みどりの通信

令和7年度
第2号

2月19日発行

青森県三八農林水産事務所 農業普及振興室
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7番地 TEL:0178-27-4444 FAX:0178-27-3323
青森県三八農林水産事務所 農業普及振興室 三戸分室
〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7 TEL:0179-23-3264 FAX:0179-23-3274

株式会社ふれあい市ごのへ 誕生！

五戸町にある産地直売所「ふれあい市ごのへ」は、町の支援を受けず自立した組織として活動していくため、組織運営体制の強化に向けて法人化を決意し、専門家と連携した法人化検討会の開催のほか、創業計画書や資金計画書等の作成に取り組み、令和7年5月に株式会社ふれあい市ごのへを設立しました。

新たな法人では、POSレジデータを活用したPDCAサイクルによる経営改善の実施や、子ども食堂への食材提供等の地域貢献活動、インスタグラムの開設による情報発信などを始めました。また、新規会員の獲得に向けて役員が中心となり重点的に声かけを行った結果、新たに10名が会員となり出荷を開始しました。

さらに、新商品開発にも取り組み、試作を重ねて、試食アンケートを実施し、ふれあい市ごのへオリジナルの福神漬を商品化しました。

今後、ますます地域に親しまれる産地直売所となるよう、運営陣をはじめ、会員や店舗スタッフが一丸となって産直活動を盛り上げているところです。



ユニバーサル農業現地検討会を開催しました！

令和7年11月4日、田子町中央公民館で令和7年度三八地域ユニバーサル農業現地検討会を開催し、多数の農業者と福祉関係者が参加しました。

ユニバーサル農業とは、「農福連携」から発展させた「障がい者のみならず、生きづらさを感じている者、高齢者を含む多様な人々が従事できる農業」のことです。

今回、農業普及振興室からユニバーサル農業の現状や農福連携を盛り上げる取組について紹介した後、普段から農福連携に取り組む農業者の山美夫妻（田子町）から取組の様子や感想について紹介がありました。また、三八地域障害者農業就労促進ネットワークの沼田事務局長から、農作業委託の方法や留意点の説明があったほか、参加した福祉事業所職員ににんにくの皮向き・根すり作業を体験していただき、「勉強になった」「作業の意味や完成品がわかれば、事業所の利用者さんのやる気も上がる」との意見がありました。

ユニバーサル農業に関心のある方は、農業普及振興室へお気軽に御相談ください。



「はれわたり」プロジェクトチームの活動

令和7年度は、近年問題となっている夏期の高温による玄米品質・食味低下に対応するため、7月8日に現地検討会を開催し、高温期の水管理や「はれわたり」の生育ステージの変化、病害虫の適期防除について情報共有し、取り組んだ結果、JA八戸管内の「はれわたり」一等米比率は98%を越えました。

2月12日には連絡会議を開催し、栽培管理のポイントや活動計画を共有し、次年度も「はれわたり」の普及拡大と生産者の所得向上に向け、一丸となって取り組むことを確認しました。



三八地域における鳥獣被害防止の取組

近年、イノシシやニホンジカ等の新規侵入害獣が急増していることから、住民の対策意識醸成や関係機関との連携により、被害低減に向けた体制強化に取り組んでいます。

◎三八地域鳥獣被害対策連絡会議の開催

管内市町村やJA八戸等関係機関のほか、今年度から新たに岩手県境市町村を参集範囲に加えた連絡会議を開催し、広域的な情報共有体制づくりを目指しています。

◎各種研修会の開催

町議員向け被害防止対策研修会の開催支援や、生産者向け被害対策講習会、市町村担当者対象の国庫補助事業の実施に向けた研修会等を開催しています。



3月10日(火)に高温対策研修会を開催します

近年、三八地域の農作物において高温による生育障害や病害虫の発生による収量・品質の低下がみられています。そこで、気象の変化に対応する生産技術を習得することを目的として、研修会を開催いたします。ぜひ御参加下さい。

▶申込〆切：3月3日(火)

日時	令和8年3月10日(火) 13:30~16:00
場所	南部町ふれあい交流プラザ (南部町大字大向字泉山道9-87)
内容	1 講演「高温に負けない水稻の安定栽培」 講師 秋田県立大学 名誉教授 金田 吉弘 氏 2 高温対策技術の要点(青森県三八農林水産事務所) (1)「水稻育苗作業のポイント」 (2)「果菜類における高温対策事例紹介」 (3)「おうとうにおける高温対策事例紹介」

新採用職員の自己紹介

黒石市出身の佐藤と申します。

V i C・ウーマン等の女性関連の業務を担当しています。

持ち前の明るく人懐っこい性格を活かし、生産者の方々に寄り添える普及員になりたいです。

よろしくお願いいたします！



農業普及振興室HP

農業普及振興室では、農作物の生育・生産情報や気象情報等について、ホームページにて発信しています。

右のQRコードからアクセスできますので、ぜひ御覧ください。



受賞おめでとうございます！

令和7年度大日本農会農事功績表彰で緑白綬有功章受章！ ～坂本 誠治さん（南部町）～

坂本さんは、有機質資材を活用するなど良食味・高品質なりんご生産を実現したほか、無袋ふじの栽培普及や販売に尽力しました。また、りんごやすもも等を組み合わせた果樹複合経営や気象災害等に強い安定生産技術の普及により産地化をけん引しました。さらに、青森県りんご剪定士や青森県農業共済理事、JAまべちプラム部会長等を務めるなど、産地形成と農業者の経営安定に大きく貢献するとともに、視察や研修生の受け入れ等の担い手育成に尽力された点が高く評価されました。



令和7年度（64回）農林水産祭で天皇杯等三賞を受賞！ ～農業生産法人 株式会社よしだや（三戸町）～

令和7年度農林水産祭 女性の活躍部門において、三戸町の農業生産法人 株式会社よしだや（代表取締役社長 吉田清華氏、写真の右から2人目）が、最高賞の内閣総理大臣賞に次ぐ、日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

多様な人材が働きやすい環境を作り出している点や、青森県産にんじくの販路開拓と高付加価値化に取り組み、さらに、研修生を受け入れるなど、地域の農業に貢献している点が評価され、受賞に至りました。



東北農村青年会議青森大会プロジェクト発表で最優秀賞を受賞！ ～尾形 徹也さん（田子町）～

令和7年8月27～28日にグランドサンピア八戸で開催された第55回東北農村青年会議青森大会において、三戸地区4Hクラブ連絡協議会の尾形さん（写真の左から3人目）が「『はれわたり』の収量・食味向上を目指して！」と題してプロジェクト発表を行った結果、最優秀賞の東北農政局長賞を受賞しました。

収量と品質を確保する施肥体系の比較検討について発表し、AIの活用など新しい技術を活用して課題を解決する前向きな取組姿勢が評価されました。令和8年3月5～6日に開催される第64回全国青年農業者会議で東北代表として発表します。



令和7年度青森県青年農業者会議プロジェクト発表で最優秀賞を受賞！ ～芦名 洋平さん（五戸町）～

令和8年2月12～13日に公立小川原湖青年の家（東北町）で開催された令和7年度青森県青年農業者会議で、八戸農好会の芦名さんが「“おてつたび”をやってみた！」と題してプロジェクト発表を行った結果、最優秀賞の青森県知事賞を受賞しました。

芦名さんは、新たな人材確保手段として注目される、旅とお手伝いを組み合わせた“おてつたび”の経験について発表し、若手らしい新しい取組が評価されました。令和8年11月に山形県で開催される東北農村青年会議に出場予定です。



新規

農業経営士、青年農業士、VIC・ウーマン

県では、地域農業のリーダーとして指導的役割を果たしている農業者を農業経営士、将来、地域農業の推進者となり得る農業青年を青年農業士に認定しています。

また、地域農林水産業の振興や農山漁村の活性化を担う女性リーダーを、VIC・ウーマンに認定しています。

今年度は、農業経営士1名、青年農業士2名、VIC・ウーマン1名が認定されました。

農業経営士

かみたい みつひろ
上平 満広 氏

(田 子 町)



◆ 品目 ◆

水稻、にんにく

◆ 取組 ◆

スマート農機を導入し、作業の効率化を図っています。また、「あおもり土づくりの匠」の認定を受け、他の生産者への技術指導や、消費者への情報発信等を行っています。

青年農業士

きむら まさき
木村 真輝 氏

(八 戸 市)



◆ 品目 ◆

いちご

◆ 取組 ◆

土壌病害虫対策として、土壌還元消毒等、化学薬剤に依らない環境に優しい方法を実施しています。また、安定的な収量確保を目指し、環境制御システムの活用等も考えています。

青年農業士

ばば としき
馬場 俊樹 氏

(南 部 町)



◆ 品目 ◆

りんご、もも、プラム等

◆ 取組 ◆

りんごのわい化へ改植を進め、高所作業台車等を導入しやすい栽培環境にしたり、葉とらずりんごの出荷を拡大する等、作業効率化に取り組み、働きやすい園地作りを目指しています。

VIC

さとう みほこ
佐藤 美穂子 氏

(五 戸 町)



◆ 品目 ◆

水稻、野菜、農家民宿

◆ 取組 ◆

農家民宿・カフェ「音水小屋」を運営しながら、「ふるさとの家保存会」会長や「青森ごのへグリーンツーリズム協議会」の副会長として、農村生活の楽しさを伝える活動に取り組んでいます。

4Hクラブ新規会員募集中！

八戸農好会、三戸地区4Hクラブ連絡協議会は、農業経営や栽培技術の改善に向けたプロジェクト活動や、独自の研修会、情報交換会などをゆるく、楽しく、真剣に行っている組織です！

農業のスキルアップや情報交換できる仲間づくりをしたい方、農業普及振興室と関わりたい方、もっと詳しく知りたい方など、お気軽に御相談ください！



みんなで応援しよう！
あおもり国スポ・障スポ

